

広報

7105

2005
No. 816

花に酔う。

今年も人々を魅了した滝山公園のツツジ（関連記事：14ページ）

いっぱい泳いでおおきなあれ

保育所園児が稚アユを放流



「おおきなあれ〜！」(カワコふれあい公園)

川とのふれあいを大切に

5月9日、10日、町内保育所の園児が日野川に稚アユを放流しました。

これは、子どもたちに川や魚とふれあうことで命の大切さ、自然のかけがえのなさを学んでもらおうと町水産振興連合会(生田正明会長)が計画したもの。

9日は黒坂カワコふれあい公園で黒坂保育所の園児が、10日は野田河川敷でひのっこ保育所の園児が放流しました。

放流場所に集まった園児たちは、トラックで届いたたくさんのおおきな稚アユをバケツに分けると、「かわいい!」「元気に跳ねてるよ」と大

喜び。

そして「おおきなあれ」と声をかけながら日野川へ一斉に放流。園児たちは元気に泳ぐ稚アユを目で追ったりしながら楽しいひとときを過ごしました。



バケツからそっと優しく放流

魚占

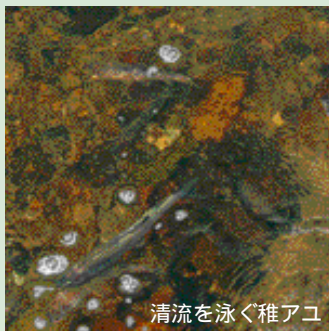


あゆ【鮎・香魚・年魚】

アユ科の硬骨魚。体長約 30cm。背部はオリーブ色。稚魚期を海で過ごし、初春に川をさかのぼり、急流にすむ。珪藻^{けいそう}を食べ、身には独特の香気があり、美味。

アユ豆知識 ●アユの語源は、古語の「あゆる（落ちる、川を下る）」から来たものだとされています。川で成長したアユが産卵をひかえて川を下る様子からつけられた呼び名です。 ●スイカのような香りがあることから「香魚」、寿命が約 1 年であることから「年魚」とも呼ばれます。 ●塩焼きなどさまざまな料理にされ、内蔵は「うるか」という塩辛にします。 ●えさ場になる岩のまわりになわばりをつくり、そこに入ってくる別のアユを追いはらう習性があります。これを利用して、おとりアユをつかった友釣りがおこなわれています。

園児たちが次にアユに出会うのは、7月に各保育所でおこなわれる予定の「アユつかみ」。園児たちは、大きく育ったアユたちとふれあうのを楽しみに待っています。



清流を泳ぐ稚アユ

6月からのアユ漁解禁に向け、町水産振興連合会が放流する稚アユは、今回の放流を含めておよそ50万匹。4月下旬から数回に分けて町内の日野川全域で放流されています。



「みんな元気に泳いでいったよ！」（野田河川敷）

まちの「きらり」を詠む



日野町俳句同好会

まちの自然を思いながら大切に詠んでいます。

うつろ四季に耳をかたむけながら趣味の句作を続ける「日野町俳句同好会」。その活動取材しました。

日野町俳句同好会（川上文子代表）は、公民館活動のひとつとして、約25年前に町内の俳句愛好者によって結成されました。

現在、会員は講師の谷悦子さん（伯耆町）を含めて9人。毎月1回の俳句会を行っているほか、町内外での吟行を年に数回行っています。

自作の俳句を持ち寄って

4月25日、定例の俳句会が開発センターで開かれました。好天に恵まれたこの日、集まった会員は

会が始まるまでの間、まちの話題や近況などのおしゃべりに花を咲かせます。

この俳句会は、会員自作の俳句をいくつか持ち寄り、そのなかで良いものを会の中で選び出し、講評を受けるというもの。

その選定作業の初めは、会員の俳句が短冊状に一句ずつ



持ち寄った俳句を手分けして集計

書いてある用紙をまとめ、集計用紙に書き写すこと。集計用紙は無記名のため、この段階では、誰がどの句を詠んだかは判りません。こうして集まった約60句のなかから、会員が良いと思う10句を選び出し投票します。このとき、自作の句には投票することはできません。そして各自の票を集計し、票の入った句が発表されると、初めてその作者が名乗り出るという仕組み。晴れやかさと照れ臭さの入り混じった、句作の喜びを感じる瞬間です。

講師の谷さんから、高得点だった句についての講評や、仮名づかいなどの注意点についての指導があり、最後に、持ち寄ったお茶とお菓子で今日の感想、これからの予定などをにぎやかに語り合い、俳句会は終了しました。

会員の皆さんにお話をうかがってみました。

俳句を詠むうえでの苦勞はなんですか？

「まさに四苦八苦(笑)。普段の生活の中で、ポコッと生まれるように出来あがることはありますが、やはりむずかしいですね。年齢のせいでしょうか、思いついてもすぐ忘れてしまうので、そのときすぐにメモをとるようにしています。」

俳句を詠むときに心がけていることはありますか？
「このまちの自然を大切に思い、常に季節の移り変わりを感しながら詠むようにしています。」

俳句を続けて良かったことはありますか？
「この俳句会でのおしゃべりでしょつか(笑)。真剣に句を選んでいるときでも時々脱線して季節の話題やお互いの近況を話したりするのが何よ

り楽しいです。俳句を通して、こうして仲間と月1回集まるのが生きがいになっていきます。」



一句一句こころを込めて

【お知らせ】

俳句同好会では、現在会員を募集しています。俳句に興味のある方なら経験は問いません。お問合せは、代表 川上文字さん(根雨)まで。

(電話) 0399

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

初音聞く全身耳にしてをりぬ	安達つるゑ
訪ねきて佛の慈顔花の寺	荒木 習子
大山の名残惜しくも竿の雪	勝瀬 京子
ベンガラてふ赤き町並花の雨	金川 昭子
川風に黄を広げたる濃山吹 <small>こやまぶき</small>	川上 文子
弁柄 <small>べんがら</small> の褪せし軒並み花の冷	久城 霞溪
菜の花や富山の薬屋来べき頃	谷 悦子
器選り佛と分つ木の芽和	徳本千鶴子
海おぼる漁火互に応へ合ふ	真壁富貴枝

(五十音順)

このコーナーでは、俳句同好会の皆さんの俳句を、俳句会で選ばれたものを中心に毎月紹介していきます。

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72・0331）



高齢者の生涯学習の拠点として

95人が新たなスタート

おしどり学園開講式

4月28日、高齢者学級「おしどり学園」の開講式が町公民館で開かれました。

式では、学園生代表として、運営委員長の松原和幸さん（津地）が、「町財政のきびしい中、学園の存続ができうれしい」とあいさつ、開講の喜びを語りました。

開講式終了後、学園生は滝山公園へ移動、ツツジの咲き誇る中で昼食会を行いました。

今年度のおしどり学園は、95名が学園生として参加。毎月1回（1、2月は休講）の講座では、午前中は一般教養講座として講師を招いての講演などを、午後からは生花、園芸、グラウンド・ゴルフなど8つのグループに分かれての専門講座が行われます。

青空に快音ひびく

日野郡少年野球日野町大会

5月3日、第28回日野郡少年野球日野町大会（主催：日野郡少年野球連盟、日野郡軟式野球協会、日野町教育委員会）が開かれました。

参加したのは、日野郡および旧溝口町のスポーツ少年団計7チーム。

試合は、根雨小学校グラウンドと日野中学校グラウンドに分かれてのトーナメント戦。多くの保護者や町民に見守られるなか、一回戦、昨年度優勝の根雨スポーツ少年団は石見スポーツ少年団と対戦。1回裏に4点先制点を取るなど好調な滑り出しでしたが、4回表、5回表に石見へ大量得点を許し、7対6で惜しくも敗退しました。



ボールをとらえる鋭い目



ユーモアたっぷりに語る森田さん

健康な毎日のために

健康づくり講演会

誰もが健康な毎日を送れるようにと、4月15日、健康づくり講演会（主催：町食生活改善推進協議会）が開発センターで開かれました。

講師は米子市の森田医院院長の森田隆朝さん。「健康づくりについて」という演題で、脳こうそく・脳いっ血などの病気の仕組みや原因、その予防法などについて話されました。

参加者は、森田さんの独特なユーモアのある語り口に時々笑い声を上げながらも、健康づくりについて真剣に耳を傾けていました。

心にひびく魅惑の歌声

野崎幹子ソプラノリサイタル

日野町出身のソプラノ歌手、野崎幹子さんのリサイタルが4月17日、町文化センター ホール森の音楽隊で開かれました。

ふるさとの皆さんに本物の音楽を届けようと、野崎さんは今まで何度もおほろ来町されています。

今回のリサイタルは、「朧月夜」「叱られて」など、日本の歌をつづった第1部と、「野ばら」「歌の翼」などの外国の曲と、オペラ「夕鶴」より「つうの Aria」などで構成された第2部とで行われ、集まった聴衆はその艶のある美しい歌声に聞き惚れていました。



しっとりとした情感あふれる歌の数々

手づくりの喜びを感じて

子ども陶芸教室



ろくろにチャレンジ！うまくできたかな

まちの子どもたちに、ものづくりの喜びを感じてもらおうと、子ども陶芸教室（主催：町公民館）が4月24日、町公民館で開かれました。

集まった町内の小学生16人は、講師の町陶芸グループ（松本節哉代表）の皆さんからアドバイスを受けながら、粘土をこねるなどの調整から、ろくろなどを使った成形までチャレンジ。初めは慣れない作業に苦労している様子でしたが、講師の皆さんと楽しくおしゃべりしながら思い思いの形の皿や茶碗を形作りました。

この日の作品は、乾燥させたあと5月21日と6月18日に絵付け、本焼きなど仕上げをして完成する予定です。



手つかずの自然が残る山道を行く



山の安全を祈願

新緑に囲まれ初登山

宝仏山山開き

新緑もまぶしい4月29日、みどりの日恒例の大山隠岐国立公園宝仏山山開きが行われました。

好天に恵まれ、絶好の登山日和となったこの日、県内外から約30人が参加しました。

登山道の入口である町歴史民俗資料館前に集まった参加者たちは、神職による安全祈願の後、山頂を目指し出発しました。

古くから信仰の山として知られる宝仏山は標高1005メートル。登山道入口から山頂までは約3キロ（標高差800メートル）。登りは約2時間30分、下りは約1時間30分の道のり。登山道を進むとブナの原生林やスギの人工林、クヌギ林などが続き、すばらしい森林浴を堪能できます。

ご存知ですか？ 人権擁護委員制度

人権擁護委員制度は、地域住民の中にあつて国民の基本的な人権を擁護する機関として設けられた制度です。

人権は、人間が幸福な人生を送るうえで、最も大切な権利です。自分だけでなくすべての人の人権が尊重されなければなりません。

昭和24年6月1日に人権擁護委員法が施行されたことを記念して、毎年6月1日は「人権擁護委員の日」と定められています。

日野町では3名（あたち よしお やまだ あつひろ とりいりょうこう 安達嘉夫 / 山田厚弘 / 鳥居良光）の人権擁護委員が法務大臣から委嘱されています。

人権擁護委員の日 特設相談所（人権相談の日）
 と き 6月1日（水）午後1時～午後3時
 ところ 開発センター 小会議室
 相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

おしらせ

Information

第28回 中国山地日野 鵜の池マラソン大会

参加者募集!

とき 7月31日(日)

ところ 鵜の池湖畔(雨天決行)

受付 午前8時30分~
午前9時20分

開会式 午前9時20分~

スタート 午前10時00分



【内容】各クラス(右表)に分かれてタイムを競い、上位入賞者を表彰します。

ただし、Sクラスは表彰、順位はありません。

【申込み】申し込み用紙に参加料を添えて教育委員会または町公民館にお申込みください。申込み用紙、大会要項は教育委員会、町公民館、図書館にあります。

【申込み期限】6月24日(金)当日消印有効

【参加料】一般 2,000円

高校生以下 1,000円

Sクラス 500円

当日は、Sクラスのみ無料で参加できますが、参加賞はありません。

問合せ先 鵜の池マラソン大会実行委員会

(町教育委員会内)

電話 72 2107

クラス一覧表

クラス	区分	距離	クラス	区分	距離
A	小学生女子 (4年生以上)	2.3 ^キ □	H	小学生男子 (4年生以上)	2.3 ^キ □
B	中学生女子	2.3 ^キ □	I	中学生男子	4.6 ^キ □
C	高校生女子	4.6 ^キ □	J	高校生男子	6.9 ^キ □
D	40歳代女子	2.3 ^キ □	K	20歳代男子	6.9 ^キ □
E	50歳代女子	2.3 ^キ □	L	30歳代男子	6.9 ^キ □
F	60歳以上女子	2.3 ^キ □	M	40歳代男子	6.9 ^キ □
G	年齢制限なし	4.6 ^キ □	N	50歳代男子	6.9 ^キ □
			O	60歳代男子	4.6 ^キ □
			P	70歳以上男子	4.6 ^キ □
S	男女フリー	2.3 ^キ □	だれでも参加できます(順位なし)		

県西部広域行政管理組合
臨時職員採用試験

- 【採用職種】桜の苑苑長
- 【採用予定人員】1人
- 【職務内容】県西部広域行政管理組合管桜の苑(米子市長砂町)の管理運営統括業務
- 【受験資格】昭和18年7月2日から昭和27年7月1日までの間に生まれた人。
- 次のいずれかに該当する人は受験できません。
 - ・成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む)。
 - ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
 - ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者。
- 【試験日】6月16日(木)
- 【試験場所】米子市役所旧庁舎会議室
- 【試験の方法】作文試験及び面接試験
- 【合格者の発表】6月下旬、合格通知書を郵送し、お知らせします。
- 【採用】7月1日の予定
- 【雇用期間】1年以内

【賃金月額】19万4千円(このほか諸手当あり)

【勤務時間】元旦及び1月2日を除く平日、土日祝日のうち、一週間あたり40時間(1日あたり8時間)となります。

【その他】健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の適用があります。

【受験手続】履歴書1通(JIS規格のもの、写真貼付)を左記申込先まで提出してください。

【受付期間】5月23日～6月10日
受付時間 午前8時30分～午後5時(土日除く)

郵送による受付はしませんので、申込先に直接申し込んでください。

【申込先・問合せ】県西部広域行政管理組合事務局 総務課
(米子市中町20番地 米子市役所旧庁舎1階)
電話0859 22 7722

6月1日～10日は電波利用保護期間

総務省では、テレビ・ラジオなどの視聴者や、正規に無線局を運用している電波利用者

を違法な電波による妨害から保護し、良好な電波によって効率よく利用できる電波利用環境を整備するため、6月1日から10日までを「電波利用保護期間」と定めています。

電波は、テレビ、ラジオ、携帯電話や無線LANといった身近なものから、警察無線、消防、救急無線や航空無線など公共的分野まで幅広く利用されています。

現在、国民の生命や財産を守るために重要な役割を果たしている無線通信や、家庭のテレビ、ラジオなどに種々の通信・妨害が発生しています。

これらの原因の多くは不法無線局(免許を受けないで不法に開設された無線局)から放射される電波によるものです。不法電波は犯罪です。私たちの暮らしを守り、電波を安心して利用できるよう、不法無線局をなくしましょう。

混信・妨害などがありましたら、総務省中国総合通信局へご相談ください。

- 無線通信への混信・妨害 (082) 222 3332
- 受信障害(テレビ・ラジオ) (082) 222 3383



ひのっこ保育所 子育て支援室では、入所していない子どもたちの交流や、保護者たちの情報交換の場として、毎週水曜日午前9時30分～午前11時30分までの2時間、親子で絵本を読んだり、ブロックや積木で遊んだり、また天気の良い日には広い園庭でブランコ、すべり台などの固定遊具、砂場などで楽しく遊んでいます。

参加している子どものほとんどが近所に遊ぶ友達がいらないという状況なので、まず子ども同士が顔見知りになることから始まり、良い「ともだちづくり」の場になっていければと思います。

6月は、天気がよければ水を使って遊べる季節です。ぬれた時のために着替え、ビーチサンダル、帽子、飲み物を持ってきてください。雨が降ったときは、室内で折り紙、ままごと、ブロック遊びなどをしたいと思います。

ぜひ一度、親子で来てみてくださいね!

連絡先 ひのっこ保育所
担当 音田(電話72-0238)

6月の予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	⑧	9	10	11
12	13	14	⑮	16	17	18
19	20	21	⑲	23	24	25
26	27	28	⑳	30		印が実施日です

なぜ導入したの？

いま、鳥取県の森林は荒れた状態が進行しています。そのため、豊かな水を育み、災害を防ぐなど私たちみんなが受けている森林の恵みが失われつつあります。

森林を保全するために県民の皆様に広く薄い負担をしていただき、県民みんなで森林を守り育てる意識を高めていきたいと考えています。

誰が、いくら負担するの？

【個人】年 300 円を個人県民税均等割に上乗せします。(現在 1,000 円)

【法人】資本金に応じて、600 ~ 24,000 円を法人県民税均等割に上乗せします。(現在 2 万円 ~ 80 万円)

1 年間の税収は 1 億円程度となります。

いつから納税するの？

【個人】平成 17 年度分の県民税からです。

【法人】平成 17 年 4 月 1 日以降に開始する事業年度分の県民税からです。

3 年後に見直しを行います。

税収は何に使うの？

間伐などによる広葉樹との混交林化

手入れがされていない奥地の水源林等を対象とし、公益的機能を回復させるための間伐などを行います。

森づくりの参加を促す森林体験

多くの県民参加による間伐の作業体験、森林教室等の森林体験企画に助成します。

県民の皆さんや有識者で構成される「評価委員会」で事業を選定・審査します。

県民の皆様にも 1 人でも多く参加していただく森林体験などの企画や、間伐を希望する箇所を募集しています。

問合せ先 鳥取県庁税務課

〒680 8570 (住所記載不要)

電話 0857 26 7053

FAX 0857 26 7087

Eメール zeimu@pref.tottori.jp

ホームページ

<http://www.pref.tottori.jp/>



今年、ひの奥渡会が発足して 33 年目。多くの会員と思い出話に花が咲きました。食事は、家庭料理を皆で回しながら賞味。特に山菜は毎年人気ナンバーワンです。タラの芽、タケノコの天ぷらなど多く

木山久嘉

ふるさとの懐かしい話、情報交換など盛り上がったところで午後 4 時半に閉会・解散、それぞれ帰宅の途につきました。根雨宿場町内に水琴窟を 6 基設置したと聞きました。帰省した際に音の散策をするのを楽しみにしています。

寄稿文

関西地区在住の日野町奥渡地区出身者で結成された「ひの奥渡会」。4 月に大阪市内で行われた交流花見会の様子を、会員の木山久嘉さん(兵庫県三田市)からお便りいただきましたので紹介します。

4 月 3 日、「ひの奥渡会」では、曇天・時々薄日のさす大阪城公園内で、恒例の花見会を開催しました。桜の花は未だちらほら咲き、人もちらほらの中、総勢 24 名が参加しました。午前 10 時頃からブルーシートを設営、材料は会長の松本清氏、副会長藤田勝久氏の支援をいただき、全員でシート張りを無事完成。

の珍珠があり、改めて故郷の味をかみしめました。今回参加いただいた遠藤勲氏(倉敷市)、金川昭子夫妻(舟場)、瀬田弘氏(安原)、松本清伸夫妻(門谷)の皆さんには、遠方からこの会を盛り上げていただきうれしい悲鳴。また、自立政策の進むなか、今回もその話題が出ましたが、まずは「頑張って」の声。

ふるさとへの便り

図書館の展示コーナー

近藤家古文書展示 6月1日(水)～27日(月)

江戸末期から、タタラ製鉄産業を基盤として、経済から教育など広範囲にわたり日野郡を支えてきた旧家に伝わる文書とタタラ関係品の数々。

日野県民局とのタイアップ展示です。

文化センター
だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

これからのホールイベント

第9回 日野川音楽祭

6月26日(日)13:00～
入場料500円(小学生以下無料)

出演：まつもと・わーど、ロス・レガリトス、広瀬設備、きじまたい、
暁の会、コーラスグループ・アザレア、森の子合唱団、桐糸音、
湯原洋子&藍田月子、合唱団おしどりたち&コール白鳥
主催：同実行委員会

カレンダー

○印が休館日です

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

お芝居くらぶさん・ふいーど公演

Epitaph ～墓碑銘～

7月9日(土)、10日(日)
入場料：前売500円、当日800円
(小学生以下無料)

あらすじ：宇宙船「アルカディア4TH」のキャプテン・リエラに、廃棄された謎の宇宙ステーション「エピタフ」を調査せよとの命令が下る。エピタフの正体とは？そこでリエラが見つけたモノとは？

木のおもちゃづくり

6月19日(日)

10:00～15:00

「時計をつくりましょう」

要材料代(千円以内)

対象：小学生以上。ただし、
幼児でも親子参加なら可

人形劇団ブーク公演

三びきのやぎのがらがらどん/

ぼちぼちいこか

7月22日(金)
第1回 10:15～(保育所団体鑑賞)
第2回 19:30～

入場料：大人1,700円、小学生以下1,300円、親子ペア2,500円

主催：日野町

図書館

おはなし会

6月18日(土)

10:00～11:00

日野川合唱フェスティバル

7月31日(日)13:00～
入場無料

日野川流域のコーラスグループの競演です。お楽しみに

主催：日野川合唱連盟

農業委員会からのお知らせ

下記の国有農地の買受けを希望される方は、農業委員会にご相談ください。

売渡土地 日野町上菅字高宮ノ前 285番地3 畑 198㎡

買受申込期限 5月23日から6月21日まで

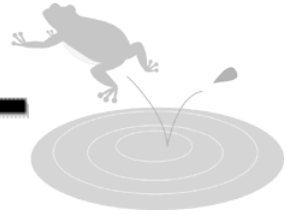
申込先 役場 農業委員会事務局(電話72-2103)

※申込用紙は農業委員会事務局にあります。

6月

くらしのカレンダー

JUNE (水無月)



1 水	人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 ----- 発泡・蛍光管の収集日(1班)	14 火	
2 木	発泡・蛍光管の収集日(2班)	15 水	発泡・蛍光管の収集日(7班)
3 金	発泡・蛍光管の収集日(3班) ----- 基本健康診査、肺がん・結核検診 金持公民館、板井原公民館、奥渡公民館	16 木	発泡・蛍光管の収集日(8班) ----- 胃がん・大腸がん検診 開発センター 午前8時~午前9時
4 土		17 金	発泡・蛍光管の収集日(9班)
5 日		18 土	行政相談 開発センター 午前9時~正午
6 月	不燃・資源ごみの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 心配ごと相談、子育て・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター 午後1時~午後3時 ----- 胃がん・大腸がん検診 町公民館 午前8時~午前9時	19 日	
7 火	さつきまつり(9日まで) 開発センター ----- 乳幼児相談 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分	20 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
8 水	発泡・蛍光管の収集日(4班) ----- 基本健康診査、肺がん・結核検診 町公民館 午後1時~午後2時 ----- 胃がん・大腸がん、基本、肺がん・結核検診 菅福公会堂 午前8時~午前9時30分	21 火	可燃粗大ごみの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 基本健康診査、肺がん・結核検診 ----- 開発センター 午後1時~午後2時 ----- 胃がん・大腸がん、基本、肺がん・結核検診 老人憩いの家 午前8時~午前9時30分
9 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所 ----- 発泡・蛍光管の収集日(5班) ----- 基本健康診査、肺がん・結核検診 久住集会所、町公民館	22 水	基本健康診査、肺がん・結核検診 町公民館
10 金	発泡・蛍光管の収集日(6班)	23 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
11 土	町文化団体連絡協議会作品展 午後1時~ 開発センター(14日まで)	24 金	
12 日		25 土	
13 月	不燃・資源ごみの収集日(根雨・日野地区)	26 日	
		27 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
		28 火	可燃粗大ごみの収集日(根雨・日野地区) ----- 1歳6ヶ月、2歳児健診 開発センター 受付:午後1時15分~午後1時30分
		29 水	
		30 木	町県民税1期分納期限

直 通 電 話	総務企画課	72 0331	住民課	72 0333
	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211
	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107
	健康福祉センター	72 0334	介護支援センター	72 1852
	下榎集会所	72 1191	夜間・休日	72 0331

出納室	72 2105	健康福祉課	72 0334
公民館	74 0212	議会事務局	72 0335
文化センター	72 1300	給食センター	72 1167
ひのっこ保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225

華やかに山を彩る

滝山公園つつじまつい

つつじと桜の競演

4月17日から5月5日まで、恒例の滝山公園つつじまつりが滝山公園で開かれ、町内はもとより、町外、県外からも多くの花見客が訪れました。

桜・つつじの名所として有名な公園内には、ダイセンミツバつつじが約3万本、遅咲きの八重桜が約100本あり、山肌によって咲き誇る姿は、さながらピンク色のじゅうたんを敷きつめたよう。今年は何年に比べ約1週間ほど見ごろが遅く、ま



花を愛でながら散策を楽しむ

つり期間の後半まで花を楽しむことができませんでした。

期間中は公園内に売店が開店、また臨時バスが黒坂駅より運行するなど、春の行楽シーズンにはぴったり。訪れた人たちは公園内を散策したり、花の下で弁当を広げたりと、思い思いに花見を楽しんでいました。

迅速・正確な消火を目標に

町消防ポンプ操法審査会



機敏な動きの中にも正確さが求められる



日々の訓練の成果を発揮

日々のたゆまぬ努力の結晶

住民の生命・財産を火災から守るための消防団員の技術向上、消防活動の充実を図るため、4月24日、町消防ポンプ操法審査会が、ひのっこ保育所駐車場で開かれました。

審査会は、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部とで行われ、ポンプ車操法の部には第1分団、第2分団、第3分団が出場、小型ポンプ操法の部には第1分団と第2分団が出場しました。内容は、ポンプ車または小型ポンプを使ってあらかじめ設定してある火点（標的）に向けて放水、それらを終了するまでの一連の動作の正確さ、機敏さ、所要時間などを競うもの。審査は、江府消防署員が公正に行い、選手同士のチームワーク、動作の安全性などの視点からもきびしく審査されます。

出場選手は各分団の代表として迅速・正確に操法を行い、日ごろ訓練してきた成果をみごとに発揮しました。

審査の結果、ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部いずれも第1分団が1位となり、7月3日に米子市で行われる県西部消防ポンプ操法大会に出場が決まりました。



赤ちゃんからお年寄りまでどうぞ

日野町食生活改善推進協議会の会員さん **料理** ¹⁶
オススメ



豆腐だんごのスープ

1人分栄養量

▶エネルギー 152kcal ▶タンパク質 13.6g
▶脂質 5.8g ▶カルシウム 118mg ▶塩分 2.9g

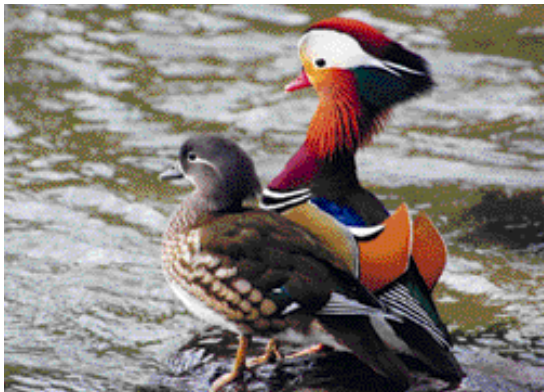
【材料】 4人分

【スープ】 湯（6カップ）、鶏ガラスープの素（大さじ1）、
長ねぎ（5cm）、しょうが（つぶす、1かけ）、
酒（大さじ2）、塩（小さじ2/3）、こしょう（少々）、
しょうゆ（小さじ1）

【豆腐だんご】 A [木綿豆腐1丁（350g）、鶏ひき肉（100g）、
しょうが汁（小さじ1）、卵白（1個分）、塩（小さじ1/2）、
酒（大さじ1）、片栗粉（大さじ2）]
せり（1/3把）、なめこ（1袋）

【作り方】

- ①鶏がらスープの素を湯で溶いてスープを作る。
- ②木綿豆腐は、ふきんかペーパータオルに包んで水気を絞る。
- ③フードカッターにAを入れてかくはんし、なめらかにする。
- ④せりは根を切りおとし、5cm長さに切る。
- ⑤鍋に、①のスープ、長ねぎ、しょうがを入れ、強火にかけて煮立てる。スープに香りがうつったら、長ねぎとしょうがを取り除き、弱火にする。
- ⑥スープの中に、スプーンですくってだんごを落とし入れ、浮き上がったら1～2分煮て、中まで火を通す。
- ⑦なめこを加え、酒、塩、こしょう、しょうゆで調味し、せりを加えてひと煮する。



「日野川のせせらぎ、幸せいっぱい、夢いっぱい」
撮影 横田敏彦さん（松江市）

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田（電話72 0271）

新緑の美しいこの頃、十数羽のオシドリが残留しています。この夏を日野で過ごし、子育てをするのでしよう。どうぞ見守ってやってください。情報もお待ちしています。
日野川に春を告げるネコヤナギ、水仙、桜、どれもこれもオシドリと似合います。まさに一幅の絵を見ているようです。自然の作り出す偉大な力にこれからも元気をいただきますように。

花鳥風月

オシドリ
たぐす

VOL. 87



編集後記

全国広報コンクールで、広報ひの（一枚写真）が読売新聞社賞に選ばれました。前担当者〇氏の努力の結晶です。今まで数々の賞に輝いた広報ひの...ものすごいプレッシャーではございますが（汗）、伝統を大切にしながら、自分なりのカラーでの紙面づくりを心がけています。ご意見、感想、ニュースなど、どんどんお寄せくださいね！（i）

入江 幸子	5月	67歳	黒坂
生田喜美子		86歳	下菅
佐々木なみよ		84歳	舟場
草瀬 正臣		79歳	門谷
檀田 肇	4月	73歳	金持

（氏名） （年齢） （住所）

おくやみ

ご冥福をお祈りします

加藤 倫	4月	哲也・享	女の子	下榎
------	----	------	-----	----

（出生児） （保護者）（性別）（住所）

赤ちゃん誕生

おめでと〜ございます

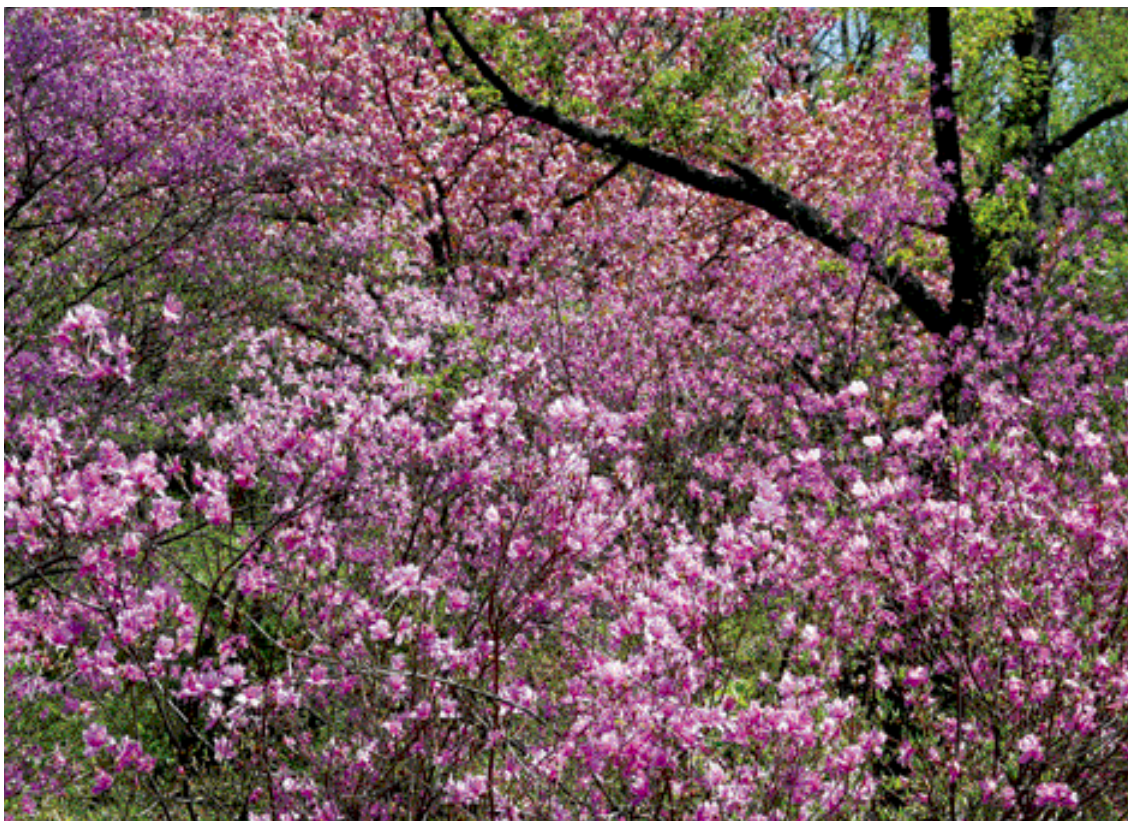
届出 4月12日〜5月10日 敬称略

4月30日現在

わたしの町

（前月比）

人口	4,329人 (+2)
男性	2,037人 (+9)
女性	2,292人 (-7)
世帯	1,553戸 (+10)



さまざまに咲き誇る滝山公園の花々

まるで花の迷宮だ。
思わず息をのむ。
色彩の輪舞。

花。花。

むせ返るような
命の息吹。

小泉八雲の描いた
不気味な伝説の残る滝は
すぐそこである。

しかし、
荘厳な滝のたたずまいとは
うらはらに、
そこから一步踏み出せば、
花々で彩られた
美しい迷宮があることを
ハーンは知っているだろうか。

●広報ひの5月号 NO. 616

●発行 日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0331 FAX72-1484

●編集 総務企画課 ●印刷 株式会社高下印刷

●ホームページ <http://www.town.hino.tottori.jp/> ●電子メール info@town.hino.tottori.jp